とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	令和７年度９月

1，活動テーマ

＜テーマ＞

2歳児・・・自然物を使ってままごと遊びを楽しもう。

＜テーマ設定理由＞

・戸外遊びの中で色々な自然物を見つける姿が見られるので子ども達の好きなままごと遊びに取り入れたいと感じた為。

2，活動スケジュール

・園庭の草花を探す。
・ままごとに取り入れて遊ぶ。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

・バケツ　・ままごと用の食器やお玉など
・ビール箱　・テーブル　・椅子

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

・保育士と一緒に園庭の草花を探す。
・見つけた自然物をバケツに集める。
・草花をちぎったり感触を感じたりして観察する。
・食材などに見立ててままごと遊びを楽しむ。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり＞

〈園庭の草花を探す〉

保育士：「ここに小さい葉っぱがたくさん落ちてるよ」
子ども：「本当だね、バケツに入れよう」
子ども：「（別の種類の葉っぱを拾って）これも入れたい」
子ども：「それは入れないで、こっちに入れて」
子ども：「（ツタを見つけて）見て、長いよ」

一人の子が長いツタを見つけたことをきっかけに次々興味を持ち始め引っ張ってバケツに集め始める。

〈ツタを観察する〉
子ども：「ヘビみたいだね」
子ども：「一緒に引っ張ろうよ」
保育士と子どもで両端を持って引っ張ってみる。ツタに葉っぱが付いていることに気が付いてちぎって集める子もいる。
子ども：「おうどんみたい」「らーめんがいい」「ちゅるちゅるだ」
麺に見立てようとする姿があったのでままごとの環境を整える。

〈ツタを使ってままごとを楽しむ〉
バケツにツタと砂、葉っぱを入れてお玉などでかき混ぜる。
子ども：「いらっしゃいませ、何味がいいですか？」
保育士：「醤油ラーメン、チャーシュー追加お願いします」
やり取りの中で出てきた具材を葉っぱや砂で見立て、うどん、ラーメン、スパゲッティ屋さんをじっくりと楽しんだ。

5，振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

葉っぱを集めるだけでなく大きさ、色の違いに気がついて入れ物を分けようとする姿が見られた。葉っぱ集めはよくある姿だったが、ツタ集めは初めてで、形や長さ、感触、生えている場所など他の自然物とは違うことに気が付いたからこそ広がっていった遊びだと感じる。ツタの中にも形の面白さ、太さの違いを感じ、一人ひとりが気に入ったツタを集めていたのが印象的だった。様々な気付きによって遊びが広がっていく姿を見て、色々なことに関心が持てるようになっているのだと感じた。